

# 美術科 山場を中心とした授業指導案

指導者；藤本 喜久

- 日 時 ; 平成29年7月18日(火)
- 場所・生徒数 ; 美術室・2年A組35名(男17人, 女18人)
- 単元名 ; ポスター制作
- 本時の目標 ; 形や色の効果を生かした着彩ができる

導 入	参考作品を見せ、作品の印象を考えさせる。 力強い⇒絵柄が大きく、シンプル。 見にくい⇒背景と絵柄(または文字)の色が同系色。など
--------	--

めあて ; 工夫した着彩をしよう

展 開 I	ポスターで「伝えたいこと」をイメージし、感覚を働かせて配色を考える 作品の構成を踏まえ、効果的な着彩の順序を考える。 効果的な技法を使うのであれば道具を用意する。
-------------	---



できた。なんか輪郭がぼやけたけど、それが不思議な感じがして面白い。  
なるほど。バックを先に塗ると手前の絵柄の輪郭が決めやすいな。

展 開 II	文字の着彩(レタリング)に入る。 基本的な塗り方(濃度は濃いめで均一に塗る、輪郭を先に決める等)をさせる。
--------------	--

ふ り 返 り	イメージに合った色彩表現ができた作品を取り上げ、その効果、作者の思いを紹介する。 次回の説明。
------------------	--

